

中高層建築物における BIM を活用した木材利用の環境整備

木材製品供給情報データベース （もりんく）の利用方法

2025 年 3 月
林野庁

目次

1. 本資料の目的・位置づけ	2
2. 木材発注の基本的な考え方	3
2.1 木材の供給・調達にあたっての川上・川中・川下事業者の課題.....	3
2.2 木材発注における基本的な対策	3
2.3 木材製品供給情報データベース（もりんく）の活用.....	4
3. JAS 等構造材を用いた基本設計・木材調達の流れ	6
3.1 データベース（もりんく）で検索可能な JAS 等構造材の概要	6
3.2 JAS 等構造材を用いた基本設計～木材調達の流れ	9
3.3 データベース（もりんく）の検索方法	12
4. ＜参考＞ 木材供給事業者による JAS 等構造材の供給情報の登録について	19
5. 関連資料の紹介	20

1. 本資料の目的・位置づけ

「もりんく」は、木材・木質材料（以下「木材」という。）の生産・流通・加工・販売に携わる川上・川中から川下までの事業者のための情報プラットフォームであり、設計者等が自社のニーズに合った原木や木材製品を取り扱っている事業者を探すほか、自社商品等の情報を発信し、連携可能な事業者を探すことが可能なウェブサイトです。

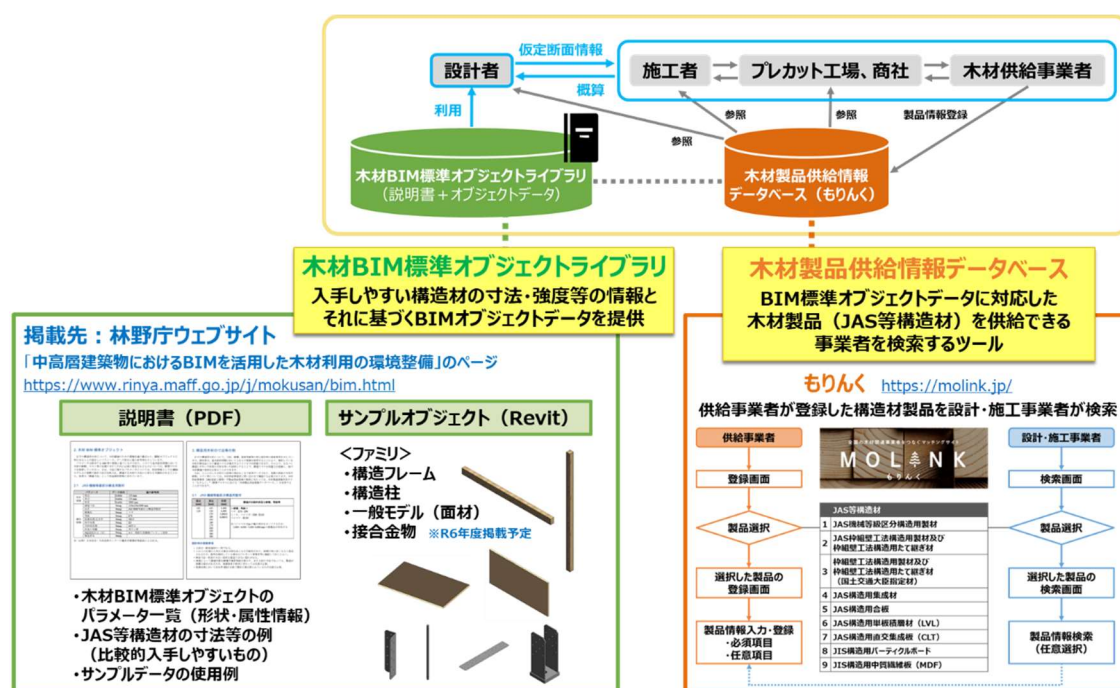
中高層建築物等に木材を利用する場合、特に構造部材として木材を利用する場合においては、設計者等は基本設計等の初期段階から利用する木材に関する情報を把握した上で木材調達に取り組む必要があります。このため、「もりんく」では、**構造部材として利用される木材（JAS 製品及び JIS 製品。以下「JAS 等構造材」という。）の供給情報を木材供給事業者が登録し、設計者等の建築事業者がそれらの情報を検索できる機能（木材製品供給情報データベース。以下「データベース」という。）を整備**しています。

本資料では、中高層建築物等への木材利用に携わる設計者等が、木材調達の実施にあたって参照できる情報として、**木材発注の基本的な考え方、データベースの活用意義・活用方法等**をご紹介します。

データベースにおける JAS 等構造材の検索・登録項目については、BIM を活用した中高層建築物等への木材利用を推進する観点から、「木材 BIM 標準オブジェクトライブラリ」における JAS 等構造材の形状情報・属性情報と対応するように整備されています。このため、BIM を活用した建築物への木材利用にあたっては、本資料と併せて「木材 BIM 標準オブジェクトライブラリ説明書」をご参照ください。

なお、設計者等は、BIM を活用しない場合にあっては、建築物への木材利用に取り組む際には、本資料に基づきデータベースを活用した木材調達を行うことができます。

※本書は、令和 6 年度林野庁委託事業「中高層建築物における木材利用の環境整備」において、学識経験者、業界団体、設計者、施工者、木材加工・流通関連事業者、ソフトウェア関連事業者等から成る委員会における検討を経て作成されました。



木材 BIM 標準オブジェクトライブラリと木材製品供給情報データベースの対応関係

2. 木材発注の基本的な考え方

2.1 木材の供給・調達にあたっての川上・川中・川下事業者の課題

中高層建築物等への木材利用にあたって、木材のサプライチェーンを構成する川上・川中・川下の各事業者においては、木材の供給・調達に対応する上での課題が指摘されており、木材供給・調達を円滑に進める上では、これらの課題に対応した取組を行うことが重要となります。

具体的な課題として、木材を利用する川下の事業者（発注者・設計者・施工者）においては、木材利用の意義・メリットへの理解が高まる一方で、実際に木材利用に取り組む上では、調達すべき木材の寸法や品質・性能等の情報や各木材製品の供給状況に関する情報が不足していること等が指摘されています。

また、川上の素材生産業者や、川中の木材供給事業者においては、中高層建築物等に利用する木材に関する川下からの需要が変動的である中で、発注見込み情報が早期に入手できないことなどから効率的な生産体制が整備できていないこと等が指摘されています。

	川上（素材生産業者）	川中（木材供給事業者）	川下（木材を利用する設計者・施工者等）
課題	・川下・川中からの需要が変動的 ・川下・川中からの発注見込み情報が早期に入手できない 等	・川下からの需要が変動的 ・川下の発注見込み情報が<u>早期に入手できない</u> ・川下から求められる断面に応じて<u>特注生産対応が求められる</u> ・扱う製品の種類が多種多様であり、<u>まとまった在庫を確保しにくい</u> 等	・基本設計段階において、<u>構造部材の断面を仮定できず</u>、資材量・コストの概算や調達計画が遅れる ・設計の早期段階において、<u>調達可能な木材の寸法・強度等を確認しづらく</u>、設計・調達計画において手戻りが多い ・<u>一般流通材として調達可能な木材の情報が把握しづらく</u>、受注生産により調達が遅れる 等

2.2 木材発注における基本的な対策

2.1 で述べたような課題に対応するためには、木材の発注において以下のような対策を講じることが有効となります。

- 余裕をもった調達計画の作成及びコスト把握を行う。

- そのためには、基本設計の早期段階で、以下のような取組を行うことが望ましい。

- ① 大まかな構造設計に基づき、使用する構造部材の条件（樹種、寸法、強度、一般流通／受注生産の別、調達量など）を仮定する。

※ 地域材・森林認証材の指定があり、原木から調達する必要がある場合、仮定断面から必要な原木量を算出する。

- ② ①で仮定した条件を満たす木材の調達先候補となる JAS 認証工場を把握し、各工場において供給している木材製品の種類等の情報を確認する。また、木材製品の納期等の詳細情報について、必要に応じて、木材供給事業者への問合せ等により確認する。

※地域材・森林認証材の指定がある場合は、必要に応じて、各工場において供給している木材の情報（生産地、認証有無等）を追加的に確認する。

- **調達コストの低減や納期短縮の観点から、可能な限り一般流通材として入手可能な断面・材長の木材を用いて設計を行う。**
- **概算・調達・伐採・加工等の計画を合理的に行うため、可能な限り、プロジェクト立ち上げ時から、各プロジェクトにおいて求められる木材製品の寸法・品質等の把握や、各木材製品の調達容易性など必要な情報の収集、調達先のあっせん・調整等を担う人材を配置することが望ましい。**

※こうした人材を育成する取組として、例えば、（一社）全日本木材市場連盟においては、林業・木材産業や木造建築物に関する知識に基づき、設計者・施工者等に対して木材利用に関する助言・指導を行う「木材アドバイザー」の認定制度を運用しており、木材流通業者（木材市売市場、木材販売業者等）をはじめとした各業種の人材を対象とした育成に取り組んでいる。

※また、各都道府県等においても、こうした人材育成に係る制度を運用する例がみられる。

上記のような対策を講じることで、川下の事業者においては、プロジェクトの早期段階から川上・川中との連携体制を構築し、業務効率化を図ることができます。

2.3 木材製品供給情報データベース（もりんく）の活用

2.2 で述べた対策の一環として、木材の調達先候補となる JAS 認証工場や、各工場における木材製品の供給情報を確認する上では、木材製品供給情報データベース「もりんく」(<https://molink.jp/>（二次元コードは右記））を活用することが有効です。



データベース（もりんく）により製品供給情報を確認することができる JAS 等構造材の概要は 3.1 において記述しており、これらの JAS 等構造材を用いた基本設計・木材調達の流れについては 3.2 において記述しています。

建築物に利用する木材の発注に携わる設計者・施工者等においては、データベース（もりんく）を活用することで、次のようなメリットが考えられます。

- ・基本設計段階において、調達可能な木材の寸法や品質・性能や、各木材製品の在庫や納期を確認しておくことで、手戻りが少なく、合理的な設計や調達計画が可能になる。
- ・大量の木材を調達しなければならない場合や、特注が必要な断面の部材を調達する場合等であっても、早期段階で調達計画に着手することが可能になる。

- ・発注者等から、利用する木材について、県産材等の地域指定や JAS 製品の指定があった場合や、地域材・森林認証材の指定があり原木から調達しなければならない場合においても、余裕を持った調達が可能となる。
- ・上記の対応により、木材調達に向けて早い段階から川上・川中の木材供給事業者と連携体制を構築し、業務効率化に繋げることが可能になる。

3.JAS 等構造材を用いた基本設計・木材調達の流れ

ここでは、中高層建築物等への木材利用の実務において、データベースを用いた際の業務（基本設計及び木材調達）の流れについて解説します。

3.1 データベース（もりんく）で検索可能な JAS 等構造材の概要

データベース（もりんく）では、検索可能な JAS 等構造材として、下表のとおり、構造部材として使われる木材を対象としています。

表 3.1-1 データベース（もりんく）で検索可能な JAS 等構造材の種類

品目
① JAS 機械等級区分構造用製材
② 枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (JAS 材、国土交通大臣指定材)
③ JAS 構造用集成材
④ JAS 構造用合板
⑤ JAS 構造用単板積層材 (LVL)
⑥ JAS 構造用直交集成板 (CLT)
⑦ JIS 構造用パーティクルボード
⑧ JIS 構造用中質繊維板 (MDF)

① JAS 機械等級区分構造用製材

JAS 機械等級区分構造用製材は、無垢の木材の軸組材料です。主として在来軸組工法の柱や梁等に用いられます。たて継ぎや積層接着は行わないので、断面や長さに制限があります。

② 枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材（JAS 材、国土交通大臣指定材）

枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材は、①と同様、無垢の木材の軸組材料です。主として枠組壁工法（ツーバイフォー工法）に用いられる材料であり、断面の寸法規格がインチサイズ（2 インチ×4 インチ等）に規格化されていることが特徴です。JAS 材の他、ツーバイフォー工法部材に用いられる輸入材として国土交通大臣がその強度等を指定した材があります。

③ JAS 構造用集成材

製材したひき板（ラミナ）をたて継ぎし、積層方向に接着した材料です。在来軸組工法の柱や梁、枠組壁工法のまぐさ等に用いられています。同じ等級のひき板を積層した同一等級構成集成材と、外層に等級が高いひき板を用いた異等級構成集成材があり、主に前者は柱等に、後者は横架材等に使われます。

④ **JAS 構造用合板**

丸太をロータリーレース又はスライサーにより切削した単板 3 枚以上を、主として繊維方向を互いにほぼ直角にして積層接着した材料です。主に在来軸組工法や枠組壁工法の耐力壁や、床に張る面材として使われています。

⑤ **JAS 構造用単板積層材（LVL）**

合板と同じく、丸太をロータリーレース又はスライサーにより切削した単板を原材料として、繊維方向を互いにほぼ平行にして積層接着した材料です。在来軸組工法やラーメン工法の柱・梁などの用途に使われています。

⑥ **JAS 直交集成板（CLT）**

ひき板又は小角材をその繊維方向を互いにほぼ平行にして幅方向に並べ又は接着したものを、主としてその繊維方向を互いに直角にして積層接着した面材です。CLT パネル工法の壁や床などとして使われています。

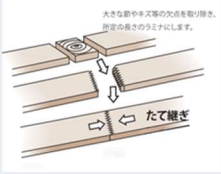
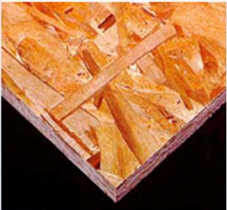
⑦ **JIS 構造用パーティクルボード**

木材の小片を材料として積層接着した面材です。主に在来軸組工法や枠組壁工法の耐力壁や床に張る面材として使われています。

⑧ **JIS 構造用中質繊維板（MDF）**

繊維状の木材を材料として積層接着した面材です。主に在来軸組工法や枠組壁工法の耐力壁や床に張る面材として使われています。

表 3.1-2 木材、木質材料の種類と分類

エレメント		軸材 製材		板、パネル材
接着無し	—	軸組工法用	枠組壁工法用	—
				
ラミナを積層接着	ラミナ 	集成材※ 		CLT 
単板を積層接着	単板 	LVL 		合板 
小片を積層接着	木材の小片 	—		OSB 
				パーティクルボード 
繊維を接着	木材の繊維 	—		MDF 

3.2 JAS 等構造材を用いた基本設計～木材調達の流れ

この節では、データベース（もりんく）を活用した場合の基本設計から木材調達までの流れを解説します。基本設計から木材調達までの流れの例は、下図のとおりです。

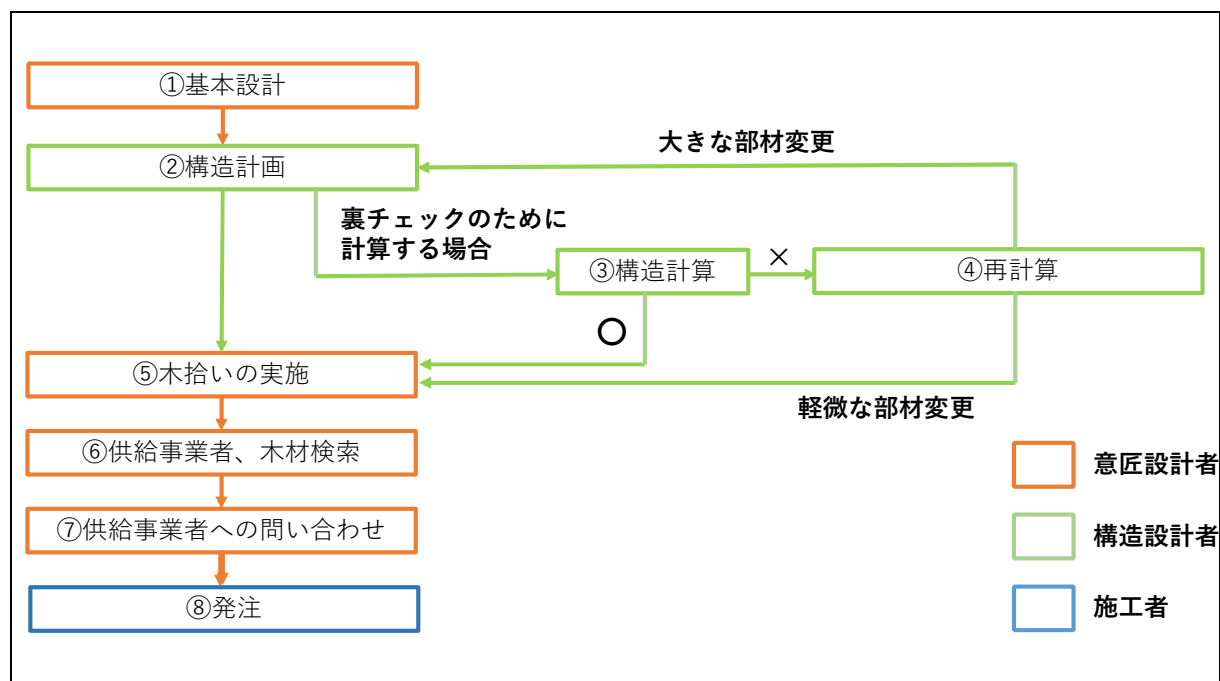


図 3.2-1 基本設計から木材調達までの流れ（例）

※上図は、基本設計から木材調達までの流れの一例です。意匠設計者・構造設計者・施工者の間での役割分担や設計・発注ルールを定めたものではありません。

※なお、公共工事の場合には、設計・施工分離方式を採用している事例が多く、コンプライアンス確保の観点から発注に係る情報の取り扱いについて注意が求められることから、本資料を参考とした木材調達に係る情報伝達を行うにあたっては、発注者との協議が必要となる点にご留意ください。

■ ①基本設計

意匠設計者は、建築物の基本設計（①）を行います。

■ ②構造計画

構造設計者は、意匠設計者から基本設計（又は基本設計に係る BIM モデル）を受け取り、構造計画（②）を行います。

構造設計者は、基本設計におけるスパンの設定等に基づき、寸法・強度等を大まかに設定し、部材を配置します。BIM を用いた設計においては、この際に各構造部材のオブジェクトを BIM モデルに配置することが望ましいです。

木材は、各部材に求められる寸法・強度等に応じて、使用に適した JAS 等構造材の種類やその調達の容易性が異なってくることから、構造計画は、使用する木材の寸法・性能等を把握した上で行うこと

が求められます。林野庁ウェブサイトにおいて公開している「木材 BIM 標準オブジェクトライブラリ」では、一般的に入手可能な寸法が予め設定された JAS 等構造材の BIM オブジェクト（サンプルオブジェクト）を提供しており、「木材 BIM 標準オブジェクトライブラリ説明書」を参照することで、各 JAS 等構造材について一般的な寸法、樹種、強度等級等の例を把握することができます。

また、木材は、断面寸法・材長に応じて各工場における納期や製造可否が異なるとともに、地域によって調達可能な樹種・強度等も異なることから、生産地や納期、在庫を確認しながら設計を進めたい場合は、データベース（もりんく）を活用して各 JAS 等構造材を供給可能な工場を検索し、入手可能な寸法・強度等を把握し設計に反映させることが有効です。

■ ③構造計算～④再計算

構造設計者は、②の構造計画に基づき、構造安全性をより詳細に検証するため、構造計算プログラムへ各部材の寸法・強度等の情報を入力し、構造計算（③）を行います。なお、建築基準法に基づき、中高層建築物等の一定規模以上の建築物は構造計算の実施が義務付けられていますが、法令上は構造計算の実施が必須でない規模の木造建築物においても、構造計算を実施することは構造安全性の確保を図る上で有効な手段となります。

構造計算の結果、部材の強度が設計上必要となる性能を満たさなかった場合（×印のフロー）は、再計算（④）を行う必要があります。

再計算の結果、基本設計に戻らなければならない程度の変更内容を要する場合（「大きな部材変更」と記載のフロー）は、構造計画（②）をやり直します。

■ ⑤木拾いの実施～⑥木材供給事業者及び木材製品の検索

意匠設計者は、構造設計者から受け取った構造設計の内容（BIM を用いた設計の場合は、BIM モデル）から木拾い（⑤）を実施します。木拾いの結果からデータベース（もりんく）を用いて実際に調達する寸法・強度等を備えた木材製品やそれらを供給可能な木材供給事業者の情報を検索します（⑥）。

※データベースを用いた JAS 等構造材や木材供給事業者の検索方法については次節参照。

■ ⑦木材供給事業者への問い合わせ

各木材製品の納期や在庫情報など、データベース（もりんく）の掲載情報のみでは調達に必要な情報を十分に入手できない場合、木材供給事業者へ直接問い合わせることも有効な手段です。

特に大規模なプロジェクトにおいて木材を大量に発注する場合や、木材の生産地を指定する場合は、木材供給事業者に問い合わせた方が円滑な木材調達に繋がると期待されます。

調達する木材の在庫が無く、受注発注となった場合、予想に反して納期が長期化する場合があります。プロジェクトの初期段階から木材供給事業者と連絡を取り、木材供給事業者においても設計者・施工者における木材発注の見通しを正式発注に先立って大まかに把握してもらうことが重要です。

■ ⑧木材発注

工事を請け負った施工者は、使用する木材について、意匠設計者が作成した情報に基づき発注書を作成し、木材供給事業者に対して発注を行います。

設計者等が木材 BIM 標準オブジェクトを活用した設計を行う場合には、JAS 等構造材の各オブジェクトデータに属性情報として「製造者名」を記入することが可能であるため、施工業者は、BIM モデルより当該情報を参照してデータベース（もりんく）登録事業者に対する発注を行うことも可能です。

3.3 データベース（もりんく）の検索方法

この節では、データベース（もりんく）を用いた JAS 等構造材の検索方法について解説します。

(1) 「もりんく」トップページ (<https://molink.jp/>) にアクセスします。

(2) 「もりんく」トップページの「事業者・製品検索」アイコンをクリックします。



図 3.3-1 「もりんく」トップページ

(3) 「JAS 等構造材を選ぶ」をクリックし、プルダウンメニューで JAS 等構造材の種類を選択します。



図 3.3-2 JAS 等構造材の種類の選択

- (4) 調達する木材の寸法・樹種・強度等級等の検索条件について、チェックボックスにチェックを入れ、検索ボタンをクリックします。

JAS等構造材品名 JAS機械等級区分構造用製材 ▼

短辺 (mm)	☐ 全て選択	☒ 90 ☒ 105 ☐ 120 ☐ 135 ☐ 150 ☐ その他
長辺 (mm)	☐ 全て選択	☒ 90 ☒ 105 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 180 ☐ 210 ☐ 240 ☐ 270 ☐ 300 ☐ 330 ☐ 360 ☐ その他
材長 (mm)	☐ 全て選択	☒ 3000 ☒ 4000 ☐ 5000 ☐ 6000 ☐ その他
樹種名	☐ 全て選択	☒ スギ ☐ ヒノキ ☐ ヒバ ☐ カラマツ ☐ トドマツ ☐ エゾマツ ☐ アカマツ ☐ バイマツ ☐ ベイツガ ☐ ダフリカカラマツ ☐ その他
等級	☐ 全て選択	☐ E50 ☒ E70 ☐ E90 ☐ E110 ☐ E130 ☐ E150
乾燥処理<含水率>	☐ 全て選択	☒ SD20 ☐ SD15
保存処理	☒ 全て選択	☒ 対応可能 ☒ 対応不可 ☒ 要問合せ
生産状況	☒ 全て選択	☒ 常時生産 ☒ 受注生産 ☒ 要問合せ
納期 (参考)	☐ 全て選択	☒ 在庫あり ☒ 1週間 ☒ 2週間 ☐ 1か月 ☐ 2か月 ☐ 1年以上 ☐ 要問合せ

↑

認定・認証・その他特徴など ✓



図 3.3-3 木材の検索条件の選択

(5) 検索条件に合う木材供給事業者名等が表示されるので、詳細情報を参照したい場合は木材供給事業者ごとに「詳しく見る」をクリックします。

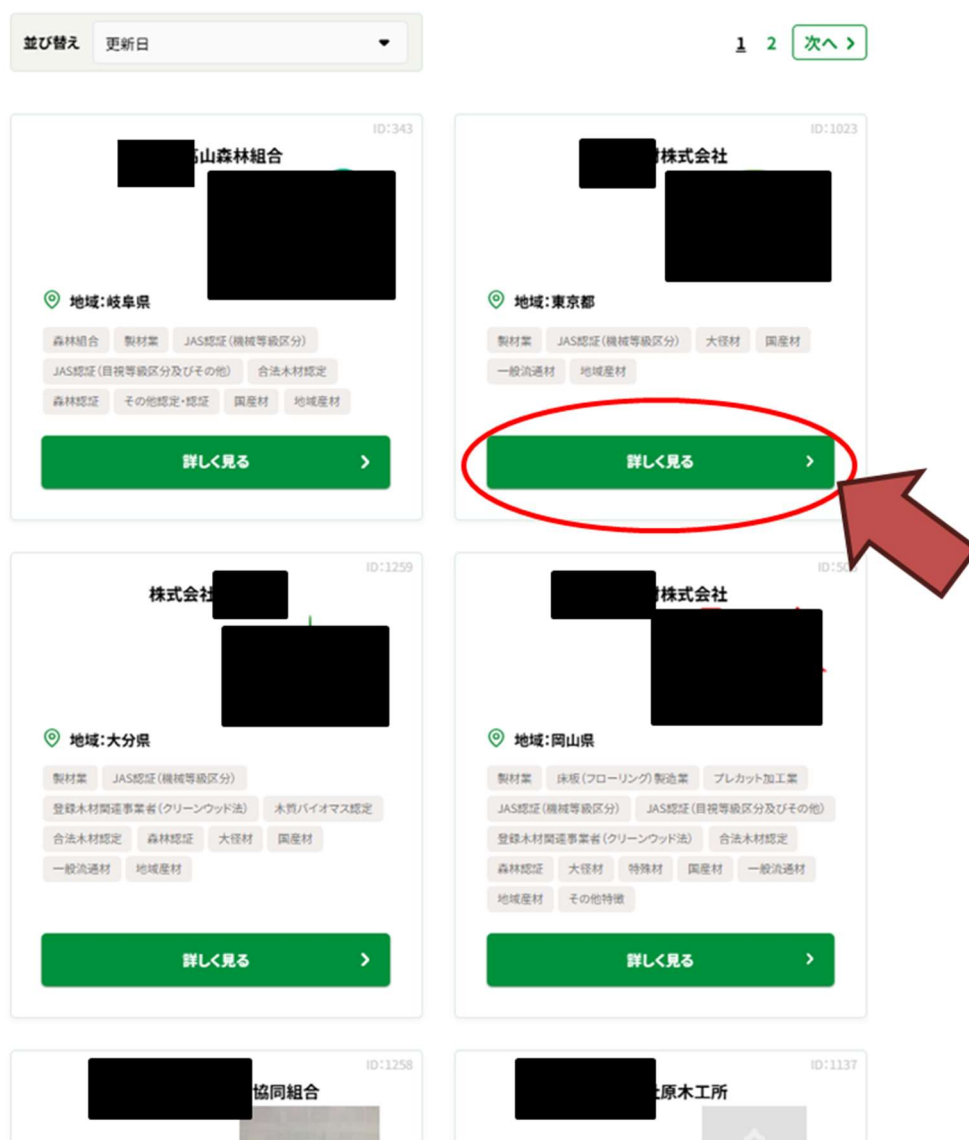


図 3.3-4 木材供給事業者の選択

(6) 選択した木材供給事業者ごとの詳細ページが表示されます。各木材供給事業者が取り扱う JAS 等構造材の寸法・強度等の詳細を参照したい場合は、「JAS 等構造材」タグをクリックします。

[TOP](#) >

かぶしきがいしゃ

株式会社

地域: 東京都

製材業

JAS認定(機械等級区分)

大径材

国産材

一般流通材

地域産材

ページを印刷

基本情報

製品

JAS等構造材

お問い合わせ

JAS機械等級区分構造用製材

件数:3件

短辺(mm)	長辺(mm)	材長(mm)	樹種名	等級	乾燥処理<含水率>	詳細
105	105	3000	スギ	E70	SD20	詳細
120	120	3000	スギ	E70	SD20	詳細
105	105	4000	ヒノキ	E90	SD20	詳細

CSV一括出力

基本情報

製品

JAS等構造材

お問い合わせ

図 3.3-5 木材供給事業者が取り扱う JAS 等構造材の製品一覧

(7) 製品毎に、その生産状況など、より詳細な情報を調べたい場合は、各製品の「詳細」ボタンをクリックすると、下記のように、より詳細な情報を閲覧することができます。在庫量や納期等が「要問合せ」となっている場合は、木材供給事業者に直接連絡を取り、内容の確認を行ってください。

基本情報
製品
JAS等構造材
お問い合わせ

JAS機械等級区分構造用製材

件数:3件

短辺(mm)	長辺(mm)	材長(mm)	樹種名	等級	乾燥処理<含水率>	詳細
105	105	3000	スギ	E70	SD20	詳細
120	120	3000	スギ	E70	SD20	詳細
105	105	4000	ヒノキ	E90	SD20	詳細

地域: 東京都

JAS認定(機械等級区分)
水産物
国産材
一級広葉材
他国産材

ページを印刷

JAS機械等級区分構造用製材

基本情報

短辺(mm)

105

長辺(mm)

105

材長(mm)

3000

樹種名

スギ

等級

E70

短辺(mm)

105

乾燥処理<含水率>

SD20

保存処理

対応不可

120

生産状況

常時生産

105

在庫量(参考)(m3)

納期(参考)

データ更新日

2024-04-19

備考

お問い合わせ

件数:3件

詳細

詳細

詳細

詳細

基本情報
製品
JAS等構造材
お問い合わせ

図 3.3-6 JAS 等構造材の詳細情報（生産状況等）の閲覧

(8) 複数の製品の情報を一括して参照したい場合は、CSV による一括出力機能を活用できます。
製品一覧の下部にある「CSV 一括出力」をクリックすると CSV ファイルがダウンロードされます。

120	270	6000	スギ	E50	SD20	詳細
120	300	3000	スギ	E50	SD20	詳細
120	300	4000	スギ	E50	SD20	詳細
120	300	5000	スギ	E50	SD20	詳細
120	300	6000	スギ	E50	SD20	詳細
120	330	3000	スギ	E50	SD20	詳細
120	330	4000	スギ	E50	SD20	詳細
120	330	5000	スギ	E50	SD20	詳細
120	330	6000	スギ	E50	SD20	詳細
120	360	3000	スギ	E50	SD20	詳細
120	360	4000	スギ	E50	SD20	詳細
120	360	5000	スギ	E50	SD20	詳細
120	360	6000	スギ	E50	SD20	詳細
120	390	3000	スギ	E50	SD20	詳細
120	390	4000	スギ	E50	SD20	詳細
120	390	5000	スギ	E50	SD20	詳細
120	390	6000	スギ	E50	SD20	詳細

CSV一括出力



図 3.3-7 木材供給事業者が取り扱う製品情報の CSV 一括出力

(9) ダウンロードされた CSV ファイルの例を下記に掲載します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	短辺 (mm)	長辺 (mm)	材長 (mm)	樹種名	等級	乾燥処理	保存処理	生産状況	在庫量 (m³)	納期 (参考)	データ更新日	備考		
2	90	90	3000	ヒノキ	E90	SD15		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
3	90	90	4000	ヒノキ	E90	SD15		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
4	105	105	3000	ヒノキ	E90	SD15		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
5	105	105	4000	ヒノキ	E90	SD15		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
6	105	105	5000	ヒノキ	E90	SD15		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
7	105	105	6000	ヒノキ	E90	SD15		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
8	120	120	3000	ヒノキ	E90	SD15		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
9	120	120	4000	ヒノキ	E90	SD15		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
10	120	120	5000	ヒノキ	E90	SD15		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
11	120	120	6000	ヒノキ	E90	SD15		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E90以上取扱中		
12	90	90	3000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
13	90	90	4000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
14	105	105	3000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
15	105	105	4000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
16	105	105	5000	スギ	E50	SD20		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
17	105	105	6000	スギ	E50	SD20		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
18	120	120	3000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
19	120	120	4000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
20	120	120	5000	スギ	E50	SD20		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
21	120	120	6000	スギ	E50	SD20		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
22	105	150	3000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
23	105	150	4000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
24	105	150	5000	スギ	E50	SD20		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
25	105	150	6000	スギ	E50	SD20		要問合せ		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		
26	105	180	3000	スギ	E50	SD20		常時生産		要問合せ	2024/11/6	E50以上・E70以上取扱中		

図 3.3-8 ダウンロードされた製品供給情報の CSV ファイルの例

設計者等は、上記の流れにより検索した各 JAS 等構造材の寸法・強度等の情報を参照しながら、調達する木材製品の情報をとりまとめることができます。

BIM を用いた設計を行う場合には、「木材 BIM 標準オブジェクトライブラリ」のサンプルオブジェクトを活用し、又は参考としながら、実際の設計に使用する木材の BIM オブジェクトに属性情報として樹種・強度等級等の情報を入力することで、BIM モデル上で調達する木材製品の情報をとりまとめることができます。

4. <参考> 木材供給事業者による JAS 等構造材の供給情報の登録について

本データベース（もりんく）に掲載されている JAS 等構造材の供給情報は、各木材供給事業者の協力のもとで登録されたものであり、現在も掲載情報の充実化が進められているところです。

データベース（もりんく）の利用を介して、設計者・施工者と木材供給事業者等の関係者間の連携が図られるとともに、JAS 等構造材の製品供給情報の登録が進むよう、以下のとおり木材供給事業者による JAS 等構造材の製品情報登録の流れを大まかに紹介します。

（１）JAS 等構造材の製品情報として登録する内容

木材供給事業者は、JAS 等構造材の種別ごとに以下の製品情報を登録します。

- ・寸法（断面・材長など）
- ・樹種（スギ、ヒノキ等）
- ・強度等級（例（JAS 構造用集成材の場合）：E65-F255（同一等級構成））
- ・乾燥処理状況（含水率）
- ・保存処理状況
- ・生産状況（「常時生産」「要問合せ」等）
- ・在庫量（参考）
- ・納期（参考）

（２）JAS 等構造材の登録方法（個別登録又は CSV 一括登録）

木材供給事業者は、JAS 等構造材の種別ごとに、①個別登録又は②CSV 一括登録のいずれかの方法を選択し、供給する製品の情報を登録します。

「JAS等構造材」の種類を選択し、製品の詳細を登録
(①個別登録 又は ②CSV一括登録)

①個別登録画面
例) JAS機械等級区分構造用製材の場合

②CSV一括登録: Excelツールでの一括登録

短辺 (mm)	長辺 (mm)	材長 (mm)	樹種名	等級	乾燥処理<含水率>	詳細
105	105	3000	スギ	E70	SD20	詳細
105	105	3000	スギ	E90	SD20	詳細
120	120	3000	スギ	E70	SD20	詳細
120	120	3000	スギ	E90	SD20	詳細

①個別登録

②CSV一括登録

③「CSV一括登録」用ツールダウンロード

④個別登録

⑤「JAS機械等級区分構造用製材」

⑥「JAS機械等級区分構造用製材」

⑦「JAS機械等級区分構造用製材」

⑧「JAS機械等級区分構造用製材」

⑨「JAS機械等級区分構造用製材」

⑩「JAS機械等級区分構造用製材」

⑪「JAS機械等級区分構造用製材」

⑫「JAS機械等級区分構造用製材」

⑬「JAS機械等級区分構造用製材」

⑭「JAS機械等級区分構造用製材」

⑮「JAS機械等級区分構造用製材」

⑯「JAS機械等級区分構造用製材」

⑰「JAS機械等級区分構造用製材」

⑱「JAS機械等級区分構造用製材」

⑲「JAS機械等級区分構造用製材」

⑳「JAS機械等級区分構造用製材」

㉑「JAS機械等級区分構造用製材」

㉒「JAS機械等級区分構造用製材」

㉓「JAS機械等級区分構造用製材」

㉔「JAS機械等級区分構造用製材」

㉕「JAS機械等級区分構造用製材」

㉖「JAS機械等級区分構造用製材」

㉗「JAS機械等級区分構造用製材」

㉘「JAS機械等級区分構造用製材」

㉙「JAS機械等級区分構造用製材」

㉚「JAS機械等級区分構造用製材」

㉛「JAS機械等級区分構造用製材」

㉜「JAS機械等級区分構造用製材」

㉝「JAS機械等級区分構造用製材」

㉞「JAS機械等級区分構造用製材」

㉟「JAS機械等級区分構造用製材」

㊱「JAS機械等級区分構造用製材」

㊲「JAS機械等級区分構造用製材」

㊳「JAS機械等級区分構造用製材」

㊴「JAS機械等級区分構造用製材」

㊵「JAS機械等級区分構造用製材」

㊶「JAS機械等級区分構造用製材」

㊷「JAS機械等級区分構造用製材」

㊸「JAS機械等級区分構造用製材」

㊹「JAS機械等級区分構造用製材」

㊺「JAS機械等級区分構造用製材」

㊻「JAS機械等級区分構造用製材」

㊼「JAS機械等級区分構造用製材」

㊽「JAS機械等級区分構造用製材」

㊾「JAS機械等級区分構造用製材」

㊿「JAS機械等級区分構造用製材」

図 4-1 木材供給事業者による JAS 等構造材の製品情報登録画面（イメージ）

5. 関連資料の紹介

中高層建築物等への木材利用、特に BIM を活用した木造建築物の設計や木材調達にあたっては、本資料と併せて、以下の関連資料をご活用ください。いずれの資料も林野庁ウェブサイトより参照ください。

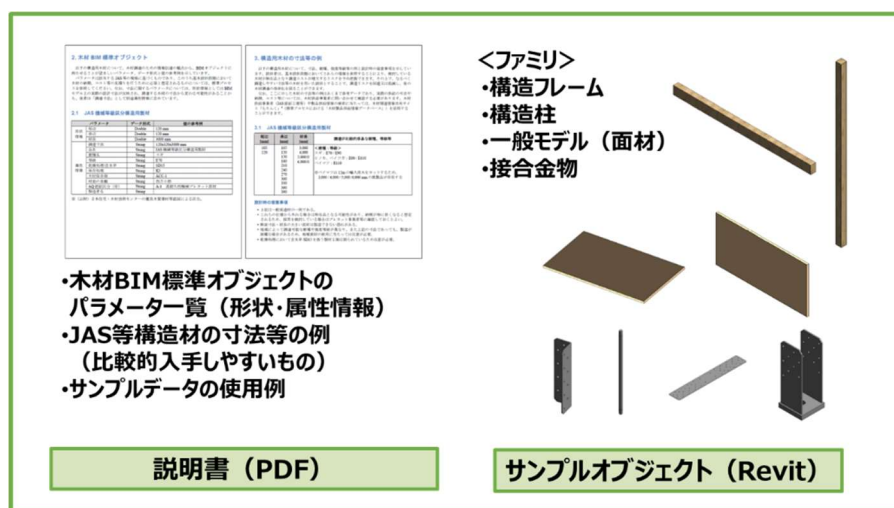
掲載先：

林野庁ウェブサイト「中高層建築物における BIM を活用した木材利用の環境整備」

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/bim.html>

① 木材 BIM 標準オブジェクトライブラリ説明書

構造部材として利用される JAS 等構造材について、その BIM オブジェクトに持たせることが望ましい情報の内容や、比較的調達しやすい JAS 等構造材の寸法等の例を整理しています。BIM を用いた設計・木材調達を行う場合には、本資料と併せてご参照ください。

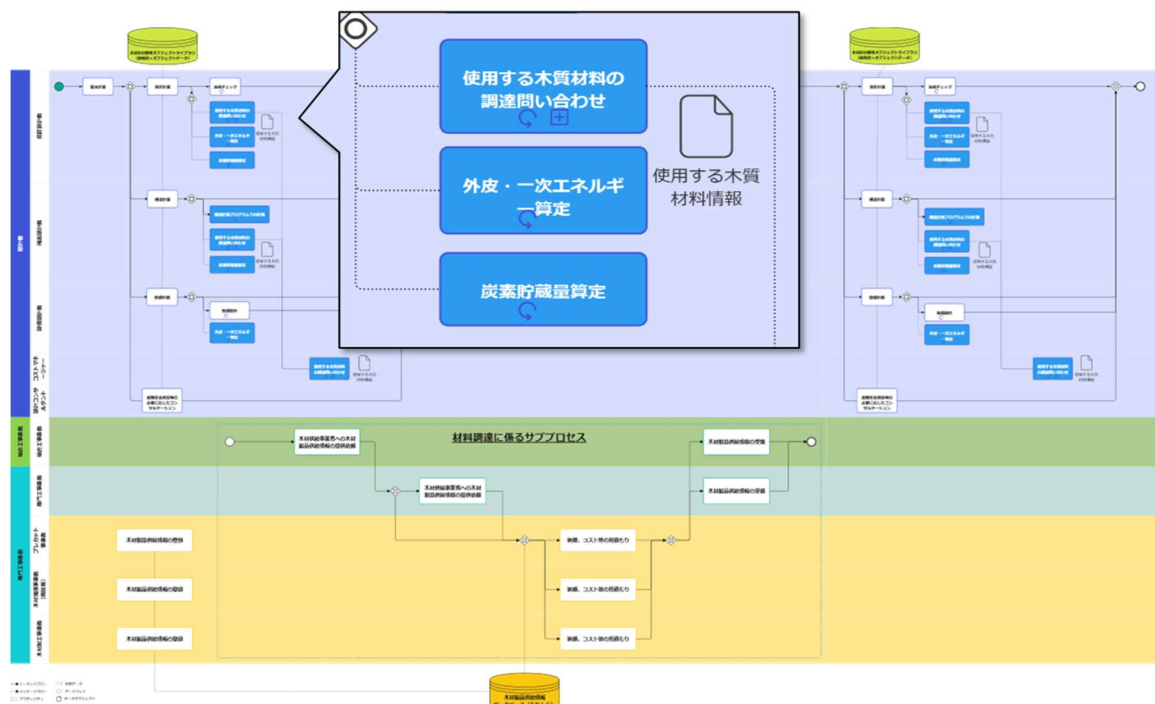


木材 BIM 標準オブジェクトライブラリのイメージ

② 中高層建築物への木材利用のための情報伝達の標準プロセス

建築プロジェクトの関係者が、いつ、どのような情報を必要とするのかという観点から、建築プロジェクトの各段階において、木材調達、構造設計、省エネ計算、炭素貯蔵量算定等の各目的に応じた関係者間の情報伝達・情報連携のプロセスを整理（情報伝達のタイミングや流れを図式化）しています。BIM を用いた設計・木材調達を行う場合には、本資料と併せてご参照ください。

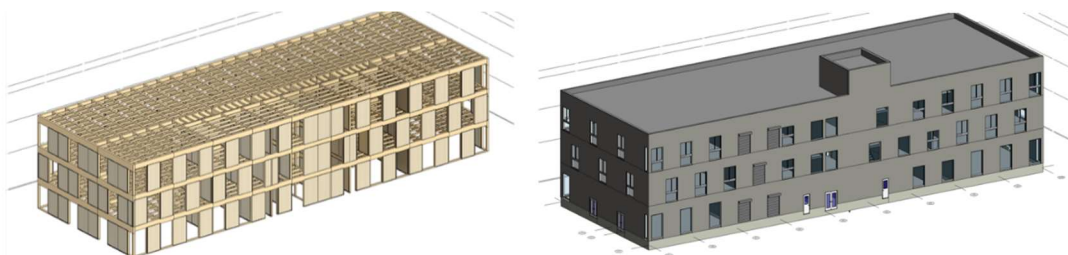
なお、本資料に示す内容は BIM モデルの作成を伴わない建築プロジェクトにおける木材利用についても一般的に参考とすることができます。



情報伝達の標準プロセス（プロセスマップ）のイメージ

③ 木造 BIM サンプルモデル

BIM を活用した木造建築物の設計例として設計者等が参照可能な木造 BIM モデルのサンプルデータを紹介します。BIM を活用した木造建築物の設計にあたって、④の資料と併せてご活用ください。



木造 BIM サンプルモデルのイメージ

④ 木造 BIM モデルパラメータガイド（木造設計 BIM モデルにおける各オブジェクトデータへの情報の持たせ方に関する説明書）

③の木造 BIM サンプルモデルと対応するよう、木造 BIM モデルにおける各部材オブジェクトへの情報の持たせ方を整理したものです。なお、掲載している内容はあくまで一例ですので、参考としてお使いください。